

事業名 公民館へ行ってみよう Day!
～あなたの明日を豊かにするヒント～

趣 旨 団塊の世代が大量に地域にもどり、地域の構造が大きく変わるといわれている中で、公民館が社会教育の場であること、活動している団体が協議会を組織して自主的な活動であることを広く市民に情報提供する。さらにサークルの活動をPRすることで地域貢献するきっかけとし、サークル同士、参加者との交流の場も設ける。

実施主体 新潟市石山地区公民館、石山地区公民館利用団体連絡協議会

参加対象 地域住民、石山地区公民館の利用団体

参加者数 224名（延べ参加者数 319名）

回数 1回 **日数** 1日 **時間** 5時間30分

場所 新潟市石山地区公民館

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	5月13日(日) 10:00～15:30	<ul style="list-style-type: none"> 公民館の活動の地域公開と地域貢献 各サークルの活動紹介と新規会員の募集 各サークル同士、会員同士の交流 	利用団体による実行委員、公民館活動協力員など
	内容・方法	<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○活動紹介コーナー:公民館で活動しているサークルを紹介するブースが20団体参加した。その他、石山地区公民館の定期団体の一覧など情報提供するコーナーなどを設けた ○一日体験の催し:陶芸、男子厨房に入ろう、ラテンとタンゴへの誘い、布ぞうりづくり、学習相談など11講座を各サークルが主催した。 ○交流ホール:第1部-健康パフォーマンス:体の健康をテーマに活動しているサークルによる「動き」を紹介した。 :第2部-大交流会:参加者が一同に会し、リレートーク、和談などを展開し交流した <p>方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ○まったく公民館に入ったことのない人をイメージして、なるべく気軽に参加できる体験をたくさん用意した。また、ちょっと休憩できるような喫茶コーナーなども提供した。 ○利用団体と実行委員会を組織し、継続して話し合いの場を設けて企画を練り上げ、いろいろな分野の活動サークルが意見を出しやすい工夫や、みんなで作り上げていく雰囲気を作った。 	

成 果

- ・ 実行委員会を作ったことで、積極的な関わりとみんなで企画して作り上げる楽しさと達成感を味わった。
- ・ サークルを超えた人の交流と、これまで公民館に足を踏み入れていなかった人の参加を促した。
- ・ 催しを主催したサークルでは、参加した人に楽しんでもらう工夫をしたり、話し合いの場をたくさん設けたことによる会員同士のつながりが深まった。
- ・ アンケートで企画委員を募集し、現代的課題をテーマにした事業「大人の放課後くらぶ」へ発展した。

課 題

- ・ 催しが同時進行の時間であったため、参加者から苦情をもらったり、超人気の催しに申し込みが殺到して断るのに苦労したりで、催しをどう工夫するか。
- ・ 一日開催のため間延びした時間ができたこと、こちらが提供する情報と、来館者が欲しい情報のずれをどうするか。
- ・ こちらがねらう団塊の世代の参加は少なかった。などを検討して次年度につなげる工夫が必要である。

問合せ先 新潟市石山地区公民館（担当：熊谷いみ子）TEL：025-286-5631